

施策評価票

第6章 人を育むまち

- | | |
|-------|------------------|
| 施策目標1 | 豊かな人生を送れる生涯学習の推進 |
| 施策目標2 | 幼児教育の充実 |
| 施策目標3 | 学校教育の充実 |
| 施策目標4 | 家庭と地域で育む教育の推進 |
| 施策目標5 | 社会教育の充実と活性化 |
| 施策目標6 | 元気あふれる市民スポーツの振興 |

進捗状況

A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

施策目標1 豊かな人生を送れる生涯学習の推進

全ての市民が生涯にわたって自己実現を目指し学び続けられる環境づくりと、その成果を地域社会の中で発揮していくことができる仕組みづくりを進めるため、市民一人一人が、一層、学習活動に取り組むことのできるよう、社会教育計画及び生涯学習推進プランに基づき、学習機会の拡充や学習環境の整備、情報の発信等を推進します。

また、囲碁を通じて人と人とのコミュニケーションを深め、心豊かに生きることができるとまちづくりを進めるため、囲碁の普及啓発活動、各種大会やイベントの開催などによりアルプス囲碁村づくりを推進します。

【生涯各期にわたる学習機会の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
ライフステージに応じた学習機会の充実	○乳幼児期から高齢期の段階に合わせた学習機会の提供と教育機能の充実	生涯学習課	親子教室、自然体験教室、地域学習講座、子育てセミナーなど生涯各期における学習ニーズに応じた事業の展開に心がけている。異なる年代・世代間の交流も図りながら各社会教育施設における多様な学習機会の充実に努める。	B (H27:B)

【市民の学習ニーズに応える学習機会の提供】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
豊かな人生を送れるための学習支援	○市民が自発的に行う学習機会の充実	生涯学習課	地域住民の声を聞く場を設け、より多くの意見を取り入れながら、活動していく必要がある。 公民館講座受講生が講座終了後自主的な活動に移行できるよう支援する。	B (H27:B)
社会変化に対応した学習機会の充実	○県、近隣市町村、各種教育機関との連携による専門的な学習機会の充実 ○社会変化や時代潮流に応じた学習機会の充実		生涯学習推進センターの講座等に積極的に参加し、社会変化やその時代に応じた情報を得ながら、地域の活動に活かしていく。 住民の学習意欲、意向の確認を行い、社会教育の本来の目的である、地域課題に関する学習の機会を設ける。	C (H27:C)

【生涯学習推進体制の整備・充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
学習施設の充実と活用	○地域学習活動の拠点施設の充実と活用		各社会教育施設の適正な維持管理を図る。 各社会教育施設における各種講座等の実施により、施設を身近に感じていただき、積極的な施設利用を促進する。	B (H27:B)
情報提供の充実	○学習情報の積極的な提供 ◆学習情報誌の充実		広報紙や市ホームページを活用し、公民館講座やサークル体験などの情報提供を行っている。	B (H27:B)
生涯学習グループの育成と支援	○生涯学習を実施するグループや団体の育成と支援		広報紙を活用し、各種サークルの会員増加のためサークル体験を行っている。参加者が減少し、活動が難しくなっている団体もある。 各グループや団体等との情報交換が出来るような取り組みが必要。	C (H27:C)
指導者の育成	○地域の優れた知識技能を持つ人材の発掘と、学習指導者としての育成 ○地域ボランティアなどの育成 ○リーダーバンク制度の活用の推進		生涯学習課	地域の学習指導者の発掘・育成はまだまだ途上である。例年開催している講座だけでなく、新たな講座の実施にも取り組む必要がある。 福祉施設を訪問するなど、多様な経験から児童生徒がボランティア活動に対する意識の向上に努める。 各社会教育施設において、地域の優れた技能、知識を持つ人材の確認に努め、公民館講座等の講師として積極的に活動していただく。また、整備したリーダーバンク制度の活用を図り、多様な学習活動を促進する。
学習成果の活用	○学習成果の発表等、情報提供の推進		活動団体の発表会や作品の展示会を開催している。活動団体自体が減少しつつ	B (H27:B)

		あるため、サークル体験などを通して活性化を図る必要がある。 より多くの学習成果発表の場の提供に努める。	
総合的な推進体制の強化	○市民や地域、学校、各種団体、民間事業者等と連携した推進体制の強化	自治会、学校、地域づくり会議、地区社協、子ども会育成協議会などと連携し、各種行事などを開催していく必要がある。	B (H27:B)

【アルプス囲碁村づくり】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
アルプス囲碁村づくり	○アルプス囲碁村計画に基づく各種大会・イベントの開催と支援 ○子どもたちを対象とした囲碁の普及啓発活動の推進 ◆今後の推進方法と体制の検討 ◆囲碁を通じた交流と人づくり	企画財政課	囲碁普及員による普及啓発活動や囲碁村まつり等のイベント・交流事業を柱に囲碁を通じたひとつづくり、まちづくりに取り組んでいる。	B (H27:B)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H27数値	課題等
生涯学習リーダーバンク登録者数	130人	140人	生涯学習課	(個人) 59人 (団体) 20団体	より使い易い制度とするため、内容の分類の変更、追加を行った。登録者・団体の募集は随時行う。 制度の広報につとめ、活用を図りたい。
囲碁普及員による囲碁指導受講者数	7,002人	10,000人	企画財政課	4,722人	少子化による児童・園児数の減少 園児から児童への継続的な普及体制

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
生涯学習の場や機会の充実に満足していると思う市民の割合	68.1%	80.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
アルプス囲碁村推進事業	12136	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課
—	110413	社会教育施設運営管理費	生涯学習課
—	110416	生涯学習推進事業	
—	110432	大町公民館一般経費	
—	110433	大町公民館活動費	
—	110434	平公民館一般経費	
—	110435	平公民館活動費	
常盤公民館施設整備事業	110436	常盤公民館一般経費	
—	110437	常盤公民館活動費	
—	110438	社公民館一般経費	
—	110439	社公民館活動費	
—	1104310	八坂公民館一般経費	
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104312	美麻公民館一般経費	
—	1104313	美麻公民館活動費	

施策目標2 幼児教育の充実

近年、発達障がい児の増加や子どもへの虐待、育児放棄などが社会問題となっています。

そのため、保健、医療、福祉分野や幼稚園、保育園との連携により、次世代を担う子どもたちを守り育て支援する子育てネットワークの構築など、幼児教育の充実に向けた環境整備を推進します。

【教育環境の整備】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
相談事業の充実	○保健、医療、福祉等との連携による発達障がい等の育児・幼児教育相談の充実	学校教育課	幼保小連絡会、教育支援委員会、教育相談等を開催し、教育支援の充実を図っている。	A (H27:一)
		子育て支援課	家庭児童相談員による相談支援、保健センターにおける乳幼児健診や5歳児相談での早期発見に努め、関係部署との連携により支援を実施	B (H27:B)
就園支援の充実	○幼稚園児保護者の負担軽減の支援	子育て支援課	27年4月から施行された子ども・子育て新制度移行により、所得状況に応じた負担とするよう見直しを行うとともに、多子世帯について保育料減免制度の拡充を図った。	B (H27:一)
幼稚園・保育園・認定子ども園の役割と連携	○幼稚園、保育園、認定子ども園の役割と連携の検討	学校教育課	幼・保懇談会を開催し情報交換を実施	B (H27:B)
		子育て支援課	定期的に、認定こども園、幼稚園との連絡会を開催し、情報の共有を図った。	B (H27:C)

【幼稚園の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
幼稚園経営への支援	○幼稚園を運営する法人等への助成	子育て支援課	27年度に1園の給食施設改築に対し補助を行った。 老朽化に伴う大規模な施設改修・改築時等における支援のあり方について検討が必要。	B (H27:一)

市民意識調査（再掲）

調 査 項 目	基準値	目標値
保育などの子育て支援サービスに満足していると思う市民の割合	59.5%	75.0%

◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
—	13212	児童総務一般経費	子育て支援課

施策目標3 学校教育の充実

少子高齢社会の進行と、国際化、高度情報化の進展など、社会情勢の変化とともに、学力・体力の向上、不登校児童・生徒への支援、心身に障害を持つ児童生徒に対する特別支援体制の充実などが課題となっています。

新学習指導要領基本理念の生きる力を育むに基づき、知識や技能の習得と、思考力・判断力の育成、道徳や体育の充実による豊かな心と健やかな体の育成に向けた取り組みを進めます。

大町高校と大町北高校の統合に向け、魅力ある高校づくりが進められるよう、地域からの意見集約に努めるほか、少子化を見据えた学校運営の将来ビジョンについても検討を進めます。

【学ぶ力の育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
基礎学力の定着と学力・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実 ◆30人規模学級、少人数による学習集団指導、習熟度別学習、チームティーチング等の推進 ◆基礎学力を向上させる取り組みの推進 ◆社会性の確立と基礎体力向上の推進 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導のさらなる工夫改善が必要である。 ○中学校にも30人規模学級を取り入れ、小・中すべての学校で少人数による指導が実現。 ○すべての学校で全国学力テストを実施するなど、子どもの実態の正確な把握のもと、指導改善を実施し、全国と比較しても良好な結果である。 ○全国と比較して、体力の低下が懸念されるため、生活習慣の改善や、大学と連携した元気アップ事業をモデルとした取り組みを一層推進する。また、すべての学校で体力テストを実施し、継続的にデータをチェック、検証しながら、課題にあった体力づくりを実施する。 	B (H27:B)
		生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ○元気アップ推進事業をさらに推進し、児童生徒の基礎体力向上に努める。 	B (H27:一)

<p>時代の変化に対応した教育の推進</p>	<p>○情報教育の充実と推進 ○外国語指導助手の配置・派遣 ○小中学校の国際交流の推進</p>	<p>学校教育課</p>	<p>○電子黒板やタブレット端末を用いたICT教育を進めるとともに、情報モラル教育（メディアリテラシ）の指導を併せて行っている。 ○拠点となる市内中学校2校にALTを2名ずつ配置し、小学校の外国語活動にも派遣している。 ○美麻小中以外での活動は、進展していない。 （美麻）メンドシーノとの国際交流をさらに推進する。</p>	<p>B (H27:B)</p>
<p>地域を担う人材の育成</p>	<p>○福祉、環境、奉仕活動、職場体験などによる職業体験学習の推進</p>	<p>学校教育課</p>	<p>○職場体験受入先の発掘等拡充が必要であり、市全体として、推進する体制を一昨年度構築し、今後さらなる推進を図る。</p>	<p>B (H27:B)</p>
<p>特色ある学校づくり</p>	<p>○あいうえおおまちさくらプランの実践 ○問題解決学習を中核においた総合学習の推進 ○地域との交流、郷土の自然・文化を素材とした学習を通じ郷土理解と郷土愛の醸成 ○山村留学生との交流による、郷土の魅力を発見する教育の推進 ○学校を核とした特色ある地域づくりの推進</p>	<p>学校教育課</p>	<p>○地域あげでの取り組みとさらなる推進、拡充を図るため、新たに「きらりおおまちサンプラン」を策定、市全体の取組として推進を図っている。 ○学年または学級毎に学習の柱を立て実践。また、美麻小中の小中一貫教育への移行など、特色を生かした取り組みが進められ、総合的な学習に地域との連携が進んでいる。 ○山村留学は受入農家の減少という課題もあるが、地域一体となって取り組みを進めている。 ○学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールの導入を推進し、地域とともにある学校づくりを進めている。 ○学校ごと、お米作りや伝統工芸など、</p>	<p>A (H27:A)</p>

			地域に根ざした学習を取り入れている。	
		生涯学習課	学校運営協議会に協力し、地域と共に歩む学校づくりを推進する。	B (H27:一)

【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
不登校等の悩みを抱える子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな悩みや課題について早期発見と早期対応に向けたスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と福祉等の関係機関との連携強化 ○学校が一丸となった課題の解決と、家庭と地域が連携した指導の推進 ○登校支援指導員・小中学校への心の教室相談員の配置による就学支援に向けた取り組みの推進 ○アルプスの家への適応指導員の配置による支援体制の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラー2名を配置し、定期的に市内小中学校を訪問して、さまざまな悩みや課題を抱える児童・生徒に対応している。 ○全教職員が情報を共有しながら連携して指導に当たっている。 ○家庭へも入り込んだ細やかな支援に取り組んでいる。 ○個別指導を原則に、個に応じた支援体制が組まれている。 	A (H27:A)
道徳教育・人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ等の根絶に向けた取り組みの強化 ◆道徳的な心情・判断力・実践意欲など道徳性の醸成 ○人権や男女共同参画の視点での意識啓発 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ○学校を基点に地域を巻き込んでの人権教育を実施している。 ○児童・生徒たちが自らいじめ根絶に向けた取り組みを実施している。 人権を考える市民の集いを地域の学校で開催することにより意識の向上が図られている。 	A (H27:A)
病弱児童生徒への教育	○病弱児童生徒の院内学級の対応	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 人権を考える市民の集いを学校で開催し、児童生徒の人権に対する意識向上が図られている。 	B (H27:一)
			対象児童・生徒がいないため閉鎖	— (H27:一)

学校給食の充実	◆学校給食における食育、地場産物の活用及び給食の安全・安心・安定の確保の推進	学校教育課	○栄養教諭も加わったの食育指導の充実を図っている。 ○市独自による給食用食材放射性物質検査による給食の安全を図っている。 ○地産地消の取り組みを更に推進する為、農林水産課等関係機関との検討を進めている。	B (H27:B)
---------	--	-------	---	--------------

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
特別支援教育体制の充実	○心身に障がいを持つ児童生徒に対する特別支援体制の整備 ○教職員の確保と指導力の向上	学校教育課	特別支援教育補助指導員の配置等、特別支援学級の充実によって、個に応じた支援体制が組めてきた。	B (H27:B)
心身障がい児就学相談の充実	◆関係課と連携した発達障がい児の早期発見 ○就学相談委員会の充実		子育て支援課との連携や専門家による巡回相談や就学相談の充実によって、早期発見・早期療育への体制が整ってきている。	A (H27:A)
外国籍児童生徒に対する教育の充実	○外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実		対象となる児童生徒数が少なく、教室の開設、指導員の配置は難しいが、必要に応じて、通訳ボランティアを依頼し、対応している。	B (H27:C)

【地域に開かれた学校づくり】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
学校・家庭・地域の連携	○学社融合事業等の推進、地域に開かれた学校づくりの推進、学校、家庭、地域の連携強化	学校教育課	学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールを美麻小中、八坂小・中、大町南小、大町北小に設置した。今後、市内全小中学校での導入を進めることで地域に開かれ、地域と一体となった学校づくりを一層推進する。	A (H27:A)

【教育環境の整備】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
施設の充実	○大町東小学校の耐震大規模改修の実施 ◆小中学校の体育館等大規模天井の耐震化の実施 ○小中学校施設改修の検討及び実施	学校教育課	○平成 25 年度から平成 27 年度までの3年間で、対象となる6校の体育館を計画的に実施済。 ○小学校は特に老朽化が著しく、大規模な改修が必要であることから、改修計画の策定と財源確保を検討している。	A (H27:A)
設備・機材の充実	○教育環境の充実を図るため設備、機材等の整備の推進		限られた予算の中で、補助事業の確保やリースなどを活用し、整備を推進する。	B (H27:B)
就学支援の充実	○就学費助成の実施		○経済的理由により就学困難な状況に陥ることのないよう、関係機関と連携し就学援助事業を実施している。	A (H27:A)
通学の安全確保	◆おおまち子ども安心・安全マップの周知と活用 ○スクールバスの運行	学校教育課	○ホームページでの公開等、周知・活用を進めるとともに、小学校区ごとの子どもの安全を守る地域連絡会の活動の継続による、関係機関が連携した取り組みを推進する。 また、道路管理者及び警察署と連携した「大町市通学路安全推進会議」を一昨年度設置、「大町市通学路交通安全プログラム」を策定。継続し取り組みを進める。 ○校外学習活動のための臨時運行などにも柔軟に対応しており、安全な通学の確保に努めている。 遠距離通学児童生徒の安全確保のため、登下校における通学手段の確保、課外活動・校外活動の充実を図る上で必要不可欠な事業である。	A (H27:A)

【高等教育の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
魅力ある地域高校づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○大町高校と大町北高校の再編統合における魅力ある高校づくりのための地域をあげた協力と支援 ○新たな高校が生徒の多様な夢や希望を叶え、幅広い人間形成を行える教育カリキュラムの実現 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ○中高連携について取組を始めており、中学生による体験入学や、市内中学との交流会など、開校に向けた取り組みを行った。 ○キャリア教育を中心に、小・中・高が連携した教育カリキュラムの作成を進めている。 	B (H27:C)
就学支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○私立高等学校就学生徒への奨学助成の実施 ○高校、大学、専門学校等に就学する学生に対する奨学金制度の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の経済的負担軽減のため、私立高校生奨学補助事業を実施している。 ○市独自の奨学金制度を実施し、経済的な支援を実施している。 	A (H27:A)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H27 数値	課題等
不登校の児童生徒の在籍率	0.97%	0.77%	学校教育課	1.41%	
小中学校の耐震化率	88.0%	100.0%	学校教育課	100%	
大規模天井（小中学校非構造部材）の耐震化率	33.0%	100.0%	学校教育課	100%	

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
学校教育環境に満足していると思う市民の割合	70.0%	80.0%
地域に向け開かれ、地域と連携した学校運営がなされていると思う市民の割合	62.9%	75.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
中学校英語指導助手（ALT）配置事業	110321	中学校振興一般経費	学校教育課
学習支援員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	
	110321	中学校教育振興一般経費	
中間教室指導員配置事業	110321	中学校教育振興一般経費	
総合教育相談員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	
	110321	中学校教育振興一般経費	
学校給食補助事業	110214	小学校負担金	
	110313	中学校負担金	
学校図書館図書整備事業	110221	小学校教育振興一般経費	
	110321	中学校教育振興一般経費	
学校給食食器更新事業	110532	学校給食費	
学校給食施設環境整備事業			
学校給食業務委託事業	110533	八坂小中学校給食費	
小中学校非構造部材耐震化事業	110213	小学校施設営繕費	
	110312	中学校施設営繕費	
教員住宅整備事業	110125	教員住宅管理事業	
小学校プール改築事業	110213	小学校施設営繕費	
スクールバス運行委託事業（大町地区）	110223	スクールバス等運行事業	
美麻スクールバス等運行事業			
八坂スクールバス等運行事業			
入学お祝い事業	110221	小学校教育振興一般経費	
—	110212	小学校管理一般経費	
—	110311	中学校管理一般経費	
コミュニティスクール推進事業	115112	事務局一般経費	
	115211	小学校管理一般経費	
—	110417	人権教育推進事業	生涯学習課
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104312	美麻公民館一般経費	
—	1104313	美麻公民館活動費	

施策目標4 家庭と地域で育む教育の推進

近年は、家庭状況に応じた柔軟な支援が求められるとともに、少子化の進行に伴い、地域の行事等の縮小や存亡が危惧されるなど、子どもたちの多様な人々との交流や体験により育まれてきた地域社会との係わりが減少している傾向にあります。

そのため、将来を担う子どもたちの健全育成に向け、リーダーの育成と情報の発信、家庭と地域、学校、行政との連携により地域一体となって家庭における教育力の向上や、地域における支援体制の強化に向けた取り組みを推進します。

【家庭教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
家庭教育力の向上	○保護者に対する学習機会の充実、情報提供、相談体制や交流の場の整備	生涯学習課	社地区では、心身ともに健やかでたくましい子の育成のために家庭教育懇談会を8地区で開催している。 地域で生活する子どもたちの実態を踏まえながら家庭や地域での大人の関わり方について懇談会を持っている 家庭教育懇談会の他地区での開催を進める。 元気アップ事業を通じて、体を動かすことの大切さを学ぶ機会を提供している。 親子教室の開催により、親同士の情報交換や交流が図られている。	B (H27:C)
親子・家族がふれあう場や機会の充実	○親子教室やふれあいイベントなどの充実 ○家庭の日の周知と取り組みの充実		各公民館において親子教室を開催し、未就園児の親子のふれあいや親同士の交流や情報交換を目的に開催している。今後とも継続して、子育て支援の重要な事業として、受講者の希望に沿った講座を開催する。	B (H27:B)

家庭・学校・地域の連携による教育力の向上	○家庭、学校、地域の連携による環境づくりの推進 ○健康づくり、食習慣・生活のリズム等の向上をめざす食育の推進 ○地域行事や地域活動への参加促進等、地域ぐるみの支援体制の充実	学校教育課	○コミュニティスクールを活用した、地域等との連携をより充実させていく。 ○食生活アンケートの実施や、結果に基づく指導を実施。	B (H27:C)
		生涯学習課	市内6地区で地域子育てセミナーを開催し、地域、家庭、学校と一緒に健全育成や教育力向上の取り組みを行っている。参加者の興味を引く内容となるよう各地区の独自色を出し、実施している。学校運営協議会に協力し、地域と共に歩む学校づくりを推進していく。	B (H27:B)
人権、男女共同参画への意識啓発	○人権や男女共同参画の視点による意識啓発の促進	生涯学習課	人権を考える市民の集いは、6地区で開催しているが公民館による開催から学校との合同開催となったことにより地域と学校との連携が深まり意識の啓発が促進した。	B (H27:B)
		まちづくり交流課	様々な分野の講演会、学習会を各地区で開催しているが、公民館（生涯学習）との連携がなお一層必要。	B (H27:B)

【地域ぐるみの青少年育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健全育成体制の充実	○青少年問題に対応する相談・推進体制の整備充実、青少年育成指導者や青少年リーダーの養成 ○子どもの安全を守る地域連絡会等地域ぐるみの活動の推進	生涯学習課	少年、ジュニア、シニアリーダー研修会を開催しているが、各地区における発展へつながらない状況も見られる。地区と市全域のリーダー研修会の連携や、リーダーの人材情報と活用場の提供を検討する必要がある。 地区子ども会育成協議会の取組をさらに推進する必要がある。	B (H27:B)

<p>健全育成事業の充実</p>	<p>○体験活動、感動体験、ボランティア活動や福祉活動、異年齢交流体験事業の推進 ○子ども会育成会等による健全育成事業の促進</p>	<p>子どもたちの自主性や協調性を養うため、小学生のリーダー研修会を実施している。なかなか育成の結果が見えにくいことと、少子化などにより球技大会や駅伝の存続が困難になりつつあることが課題である。現状に合った形の活動に変えていく必要がある。 体験活動への支援として、育成会向けのバス利用「体験学習号」の運行を実施している。 子ども達の生きる力を育むために、自然体験学習等を開催している。</p>	<p>B (H27:B)</p>
<p>社会環境浄化活動の充実</p>	<p>○非行防止・環境浄化活動、街頭補導活動、啓発活動等の推進</p>	<p>補導委員を委嘱し、多くの方に参加いただいで、56回の街頭補導活移動を実施した。補導委員の選出について、選出に苦慮している自治会もある。一方で、自治会推薦によらず自ら積極的に携わる委員の選出も始めている。 各地域でのあいさつ運動や見守り活動を継続して実施していく。</p>	<p>B (H27:B)</p>

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H27数値	課題等
家庭教育懇談会開催地区数	7地区	10地区	生涯学習課	8地区	社地区以外の地区での開催を検討したい。 参加者の減少や内容の固定化、単調化についても検討が必要である。
子ども体験学習号利用団体数	13団体	20団体	生涯学習課	14団体	予算の範囲内で、多様な体験活動に活用していただいている。
ジュニア・シニアリーダー数	7人	10人	生涯学習課	11人	登録者数。高校生の参加を積極的に呼びかけたい。

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
地域ぐるみで非行防止や青少年健全育成に取り組んでいると思う市民の割合	67.3%	75.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
—	110417	人権教育推進事業	生涯学習課
—	110422	青少年育成事業	
—	110421	補導・環境浄化活動事業	
—	110433	大町公民館活動費	
—	110435	平公民館活動費	
—	110437	常盤公民館活動費	
—	110439	社公民館活動費	
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104313	美麻公民館活動費	

施策目標5 社会教育の充実と活性化

職員の出張講座や公民館事業の充実などにより、多様化する市民ニーズに対応した学習機会の充実を図るとともに、図書館では、大町市子ども読書活動推進計画に基づく図書資料の充実をはじめ、高齢者の読書活動を支援するため、公民館活動と連携した出張講座の開設などの取り組みを推進します。

また、各種団体等との連携により、市民の社会教育活動を促進します。

【社会教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
多様な分野の学習活動の支援	○誰もが住み良い地域づくりをめざした多様な分野の学習機会の充実	生涯学習課	公民館講座では住民の要望に沿った講座の開講に心がけ、いつでも、どこでも、だれでも自由に学習できる公民館事業を推進し、学習機会の提供に努める。	B (H27:B)
新たな取り組みによる活性化	○社会教育施設、民間、各種機関等との連携による新たな事業展開の検討 ○社会教育施策の実施において、事業の評価・見直しを重ね、住民ニーズにあった事業の活性化の推進		大町市科学振興会を組織し、企業からの寄付をいただきながら、市内小中学校児童生徒の夏休みの一研究へ賞を授与している。 社会教育委員会議において、事業の計画や実施状況について協議し、助言を得ながら事業を進めている。	B (H27:B)
市政学習の推進	○社会教育の一環としての市政学習の推進 ○市民の市政に対する関心度と意識の高揚 ○あらゆる機会を通じた市政に関する学習会の開催 ◆市職員出張講座の充実と情報提供		職員の出張講座は、メニューの見直しを行いながら、内容についても関係課と調整し、要望に応えている。	B (H27:B)
男女共同参画社会づくり	○平等意識の醸成と男女共同参画づくりの推進	生涯学習課	人権を考える市民の集いは6地区で開催しているが、公民館だけの開催から学校との合同開催をすることにより、地域と学校との連携が深まり、意識の啓発が進んでいる。	B (H27:B)

		まちづくり 交流課	男女がともに、個々の生き方、能力、適性を考え固定的な性別役割分担にとらわれずに、主体的に進路を選択する能力や態度を身につけるよう推進する。	B (H27:C)
--	--	--------------	---	---------------------

【公民館事業の充実と活性化】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
公民館事業の充実	○社会や地域の要請に適合したより質の高い公民館事業の展開	生涯学習課	アンケートにより要望の把握をし、講座を実施しているが、趣味的な講座の参加者は多いが、地域課題などをテーマにした教育的講座などは関心が薄い状況にある。それぞれの公民館の独自性を発揮した事業の実施に努めたい。 コミュニティスクールの指定に伴い、学校と連携・融合した公民館事業の実施を推進する必要がある。	B (H27:B)
自主的な活動の促進	◆自主的に活動する団体の育成・支援と人材の育成 ○学習機会や場の提供		公民館教室等から、自主的に活動するサークルへの移行がなかなか進まない。 いつでも、どこでも、だれでも自由に学習できる場の提供さらに推進する。 子ども会育成事業を通して子どもの成長と単位育成会の活動のリーダーの育成を図る。	C (H27:C)
地域コミュニティへの支援	○分館活動の支援と地域の一体感を醸成する取り組みの強化		社地区では、運動会の形態を変え、親睦を目的としたものにし8年が過ぎた。 社地区全体のコミュニティを醸成する運動会に定着してきた。 地域内のコミュニティの維持、振興のため、分館事業補助金や分館講座の支援をしているが、活動する分館としない分館の差が生じている。	B (H27:C)

		<p>公民館分館が地域活動の拠点として活用されるよう、コミュニティ振興対策事業として、地域の分館の整備、修繕等のための補助金を交付している。</p>	
--	--	--	--

【図書館活動と読書活動の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>図書館サービスの拡充</p>	<p>○誰もが利用しやすい図書館サービスの拡充 ◆図書館資料の充実と所蔵資料の広報</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>大型活字本や大型絵本の購入など市民やボランティア団体の要望を受けた資料の購入を行った。利用しやすい図書館、親しまれる図書館をめざし季節に合わせた本の企画展示や講座、イベントを開催し、市民への啓発を行った。今後、比較的若い世代の図書館利用の促進を図りたい。 広報おおまちや大系タイムス紙、有線放送で定期的に新着図書を紹介を行った。開館 10 年を過ぎ視聴覚教材など更新が必要なものが出てきており順次更新が必要となっている。</p>	<p>B (H27:B)</p>
<p>読書活動の推進</p>	<p>◆高齢者・障がい者の読書活動の推進 ◆大町市子ども読書活動推進計画の実施 ○読み聞かせ活動等の読書活動の推進</p>		<p>高齢者の読書活動を推進するため、高齢者施設訪問や老人クラブの来館の折、大活字本などの図書の紹介や集団貸出などの紹介を行った。大町市子ども読書活動推進計画により折り紙教室や読み聞かせ会などを読み聞かせサークルの皆さんの協力により定期的に行った。</p>	<p>A (H27:B)</p>
<p>教育・文化施設やボランティアとの連携</p>	<p>○資料修理ボランティアの養成と活用 ○学校図書館、公民館、博物館等との連携の強化</p>		<p>付箋本講座を開催し製本の基礎について講座を開催した。県立図書館等他の団体主催の養成講座について、講座の紹介等を行い、広く学習の機会を提</p>	<p>B (H27:B)</p>

		供していきたい。 美麻、八坂分室のサービス向上や蔵書の充実を図る必要がある。山岳博物館など他の教育施設所蔵の資料検索の実施についても検討したい。	
--	--	---	--

【教育関係機関との連携】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
民間の社会教育施設の活用促進	○市内の博物館をはじめ民間の教育機能を有する施設との連携と協力、市民の学習活動への活用促進	生涯学習課	エネルギー博物館は再生可能エネルギーについて展示、解説、体験をとおして理解を深めることができる施設であることから、小中学校における総合的な学習等の校外学習活動としての利用や育成会ほかの団体へ積極的な利用を働きかけた。高瀬渓谷を含めた学習の場となるよう検討を進める。	C (H27:C)
大学・研究機関等との連携	○大学・研究機関との連携による社会教育の充実	生涯学習課	図書館では信大図書館との連携が行われているが、その他の連携は行われていない状況である。	C (H27:C)
		山岳博物館	信州大学山岳科学研究所及び長野県環境保全研究所と連携協定を締結している。 平成26年度からは共同研究により鹿島槍カクネ里雪渓(氷河)調査を開始するなど、今後の社会教育に寄与すべく密接に連携している。	A (H27:A)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H27数値	課題等
公民館利用者数	96,311人	106,000人	生涯学習課	93,099人	基準値に対して、公民館利用者はほぼ横ばいであるが、利用者が固定化していることもあり、新規の利用の開拓に努めたい。 (なお、公民館の利用、集会所利用としてのサンアルプス、フレンドプラザ、音楽活動や展示会場の蔵の音楽館、ギャラリーいーずらを加えた利用者数は、120,782人となっている)
公民館講座等開催数	647回	650回	生涯学習課	445回	目標に届かなかったが、多様な講座により多くの受講生の学習の機会を提供するよう努めている。今後も継続して、多様な学習機会の提供に努力したい。
公民館講座等受講者数	9,745人	10,700人	生涯学習課	9,679人	目標には届かなかったが、公民館（ピュア含む）、図書館、文化財センターの様々な内容の講座により、多様な学習を展開することができている。 生涯学習の場として重要な位置を占めているので、今後も継続して、学習機会を確保し、学習活動の振興に努めたい。
図書館の年間貸出冊数	197,780冊	200,000冊	生涯学習課	154,641冊	市中人口の減少や娯楽・情報源の多様化などにより、読書人口は減少傾向にある。今後とも読書活動の推進等、積極的な取り組みを行っていく。
図書館の蔵書数	121,329冊	145,000冊	生涯学習課	128,166冊	利用者によって、ニーズが異なるが、要望に応えつつ分野が偏らないよう購入していく。

図書館の来館者数	46,992人	50,000人	生涯学習課	44,178人	人口の減少や中高生の活字離れ、利用者の高齢化により、読書活動全体が低下傾向にあるため、読み聞かせ活動や季節ごとに開催するイベントの拡充等を行い、来館者数の増加に努めていく。
----------	---------	---------	-------	---------	--

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
公民館活動に満足していると思う市民の割合	75.6%	80.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	110412	社会教育総務一般経費	生涯学習課
大町エネルギー博物館管理運営費補助金	110414	エネルギー博物館運営費助成事業	
—	110415	公民館分館整備助成事業	
—	110416	生涯学習推進事業	
—	110417	人権教育推進事業	
—	110433	大町公民館活動費	
—	110435	平公民館活動費	
—	110437	常盤公民館活動費	
—	110439	社公民館活動費	
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104313	美麻公民館活動費	
—	110442	図書館管理運営一般経費	
—	110443	図書資料購入事業	
—	110613	山岳博物館教育普及事業	
—	110614	山岳博物館調査研究事業	
—	110616	動植物飼育栽培繁殖事業	

施策目標6 元気あふれる市民スポーツの振興

幼児期からの運動習慣は、大人になってからの身体活動に大きく影響することから、遊びを通じて運動習慣を身につけることが必要です。また、青年期から高齢者に至るまで、生涯学習としてのスポーツ活動は、生活習慣病の予防をはじめ、日常生活における心身の健康や仲間づくりなどにおいても有効です。

体力や年齢に応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ教室や体力づくりの機会の充実、各種スポーツ大会の誘致や交流大会の開催により、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図ります。また、老朽化した体育施設の整備充実を進めます。

【生涯スポーツの推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健康、体力づくりの推進	○体力や年齢、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりができる機会と場所の提供	体 育 課	運動あそび教室、ママさんフリースタイル、エアロビクス教室、健康づくりサークル等子どもから高齢者まで各年代に合わせた教室を実施	A (H27:A)
スポーツグループの育成	○定期的、継続的に活動するスポーツグループの育成と支援		スポーツの振興に総合型スポーツクラブの役割は重要になってきており、組織体制の整備が必要	B (H27:B)
スポーツに親しむ機会の充実	○各種スポーツ教室の開催 ○誰もが気軽に参加できる新しいスポーツの導入と普及		体育協会、大町スポーツクラブの教室のほか、スポーツ推進委員会を中心に、各種スポーツ教室を開催するとともに、バランスボール教室やワンバウンドふらばーるバレー教室・大会等を開催するなど、ニュースポーツの普及を図っている。また、JFAの選手等が「夢先生」となる「こころのプロジェクト夢の教室」を開催	A (H27:A)

【スポーツ団体の育成強化と競技技術の向上】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
組織の育成と技術力の向上	○体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導員会等との連携による各種スポーツ団体の組織強化と技術力の向上の促進	体 育 課	少子高齢社会の進展により競技年齢の高齢化や、スポーツをしない子どもたちの増加など、体育協会、スポーツ少年団等の組織力が低下している。財政支援を含めて強化策が必要	B (H27:B)
指導力の強化	○スポーツ指導者の指導力の育成と指導力の強化及び一貫した指導体制確立への支援		競技年齢の高齢化等により指導者の確保が難しく、指導者の養成や資質向上が課題である。スポーツ推進員の役割がより重要である。	B (H27:B)
スポーツ大会の開催と交流の促進	○各種スポーツ大会・交流会の開催と誘致の推進		市民スポーツ祭を始め少年少女球技大会、B&G 武道大会など各種大会を開催するほか、県、全国レベルの大会では、復興支援サッカー大会の開催や北信越ソフトバレーボールフェスティバルの誘致を行った。また、松本山雅 FC のホームタウンとなり、トレーニングマッチの開催による試合観戦やホームゲームでの市の PR 等、山雅を活用した地域の活性化を図っている。	A (H27:A)

【体育施設の整備・改修】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
体育施設の充実	○老朽施設の整備・改修、設備・備品等の充実 ○体育施設に対するニーズの把握	体 育 課	体育施設・設備の多くが老朽化により改修や更新が必要となっているが、整備・充実を図りながら市民体育の向上のほか、交流人口の増加にも活用している。さらに、利用者のニーズや利便性を考慮した施設整備を図るととも	B (H27:B)

			に、維持管理費用の低減のため、計画的に整備していく。	
体育施設の有効活用	○大学・企業等のチームの合宿誘致等による体育施設の有効活用	体 育 課	施設の有効活用を図るため、また、スポーツ振興を図るためスポーツ合宿等の誘致を進めている。特に夏場の大学等のの合宿は、時期が重なるため、施設が不足している状況	B (H27:B)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H27数値	課題等
体育施設利用者数	309,883人	320,000人	体 育 課	297,682人	競技人口の減
スポーツ教室参加者数	3,301人	3,500人	体 育 課	3,156人	ニュースポーツなど魅力的な教室
スポーツ大会参加者数	12,496人	13,000人	体 育 課	9,447人	競技人口の減 市民への広報、情報提供

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
スポーツの振興について満足していると思う市民の割合	72.0%	80.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
体育施設芝管理事業	110521	体育施設維持管理事業	体育課
B&G 海洋センター艇庫トイレ・シャワー室改修	110522	体育施設整備事業	
テニスコート整備事業			
屋内運動場整備事業			
陸上競技場 公認競技場更新事業			